



平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
 コード番号 6190 URL http://phoenixbio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 藏本 健二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	902	△26.6	△268	—	△267	—	△270	—
29年3月期	1,228	1.0	142	△25.3	133	△10.7	128	2.5

(注) 包括利益 30年3月期 △278百万円 (—%) 29年3月期 128百万円 (6.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	△93.36	—	△13.7	△11.7	△29.8
29年3月期	44.43	44.17	6.3	5.6	11.6

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 一百万円 29年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	2,169	1,857	85.6	639.26
29年3月期	2,385	2,103	88.2	728.38

(参考) 自己資本 30年3月期 1,857百万円 29年3月期 2,103百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	△187	△451	△62	932
29年3月期	44	98	20	1,635

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	631	99.5	△67	—	△69	—	△75	—	△26.10
通期	1,498	66.0	124	—	122	—	104	—	35.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

30年3月期	2,905,500株	29年3月期	2,888,300株
30年3月期	一株	29年3月期	一株
30年3月期	2,900,646株	29年3月期	2,888,300株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	902	△26.6	△263	—	△261	—	△263	—
29年3月期	1,228	1.0	132	△46.5	122	△40.8	112	△28.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	△90.93	—
29年3月期	39.04	38.81

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	2,277	1,940	85.2	668.03
29年3月期	2,484	2,172	87.5	752.21

(参考) 自己資本 30年3月期 1,940百万円 29年3月期 2,172百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 補足情報	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、個人消費も持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、米国の政権運営や不安定な国際情勢などの懸念材料もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社の顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が活発な状況にあります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループはマウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスを提供しており、世界の手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心とした海外市場の拡大に注力してまいりました。

現在の主力である肝炎試験（薬効評価）においては、国内市場は堅調に推移したものの、大型案件が集中する海外市場は、前年下半期から続く開発薬停滞による受注減が想定より長引きました。また、多くの新薬が対象となることから当社グループの成長分野として位置付けるDMPK/Tox試験（薬物動態関連試験、安全性試験）においては、有用な学会発表を契機として新たな用途である化学薬品分野での受注やPXB-cells販売が伸びた一方、海外市場でのPXBマウス販売は振るいませんでした。

この結果、当連結会計年度の売上高902,366千円（前年同期比26.6%減）、営業損失268,618千円（前年同期は営業利益142,157千円）、経常損失267,227千円（前年同期は経常利益133,293千円）、親会社株主に帰属する当期純損失270,791千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益128,325千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,342,839千円となり、前連結会計年度末に比べ583,757千円減少いたしました。これは主にその他が52,472千円、原材料及び貯蔵品が39,402千円、それぞれ増加したものの、現金及び預金702,369千円減少したことによるものです。また固定資産は826,464千円となり、前連結会計年度末に比べ367,719千円増加いたしました。これは主にKMT Hepatech, Inc.の株式取得によりのがれんが362,372千円発生したことによるものです。この結果、資産合計は2,169,304千円となり、前連結会計年度末に比べ216,037千円減少となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は220,833千円となり、前連結会計年度に比べ79,143千円増加いたしました。これは主にその他が68,667千円、買掛金が8,914千円、それぞれ増加したことによるものです。また固定負債91,091千円となり、前連結会計年度末に比べ48,781千円減少いたしました。これは主に長期借入金56,004千円減少したことによるものです。この結果、負債合計は311,925千円となり、前連結会計年度末に比べ30,361千円増加となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,857,379千円となり、前連結会計年度に比べ246,399千円減少いたしました。これは主に譲渡制限付株式の発行により資本金が16,056千円、資本剰余金が16,056千円、それぞれ増加した一方で、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が270,791千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ702,369千円減少し、932,937千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は187,197千円（前連結会計年度は44,828千円の収入）となりました。これは主に前受金の増加52,444千円があった一方で、税金等調整前当期純損失267,336千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は451,611千円（前連結会計年度は98,829千円の収入）となりました。これは主に子会社化したKMT Hepatech, Inc.の株式取得による支出444,363千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は62,995千円(前連結会計年度は20,286千円の収入)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出56,004千円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
自己資本比率(%)	77.1	84.5	88.2	85.6
時価ベースの自己資本比率(%)	—	302.7	195.3	137.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	0.5	4.3	—
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(倍)	—	98.8	27.2	—

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

5. 平成27年3月期の「時価ベースの自己資本比率」は、当社は非上場であったため、時価を把握することができませんので記載しておりません。

6. 平成27年3月期及び平成30年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・ガバレッジ・レシオ」は、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社は平成29年11月にカナダにあるKMT Hepatech, Inc. の株式取得を行い完全子会社化しました。同社はこれまで独自のヒト肝細胞キメラマウスを生産し、北米を中心に受託試験サービスを提供してまいりました。当社グループに参画したKMT Hepatech, Inc. は、将来的には北米でのPXBマウス生産拠点としての役割を担い、グループ全体の米国での事業拡大に寄与するものと考えております。平成31年3月期は、これまで配送コストの問題から展開が遅れていたPXB-cellsの海外販売とPXBマウス生産のための準備を進めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、売上高1,498,083千円(当期比66.0%増)、営業利益124,700千円、経常利益122,356千円、親会社株主に帰属する当期純利益104,228千円を見込んでおります。

なお、為替レートにつきましては、1米ドル105円、1カナダドル82円を前提としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,635,306	932,937
売掛金	120,612	140,209
製品	45,191	46,036
仕掛品	35,718	43,705
原材料及び貯蔵品	62,764	101,806
繰延税金資産	4,729	3,399
その他	22,273	74,746
流動資産合計	1,926,596	1,342,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	361,713	365,921
減価償却累計額	△239,427	△256,126
建物及び構築物(純額)	122,285	109,794
車両運搬具	352	352
減価償却累計額	△176	△352
車両運搬具(純額)	176	0
工具、器具及び備品	159,948	172,531
減価償却累計額	△142,240	△152,927
工具、器具及び備品(純額)	17,708	19,604
土地	296,000	296,000
リース資産	15,289	30,487
減価償却累計額	△4,741	△5,393
リース資産(純額)	10,547	25,094
有形固定資産合計	446,718	450,493
無形固定資産		
のれん	—	362,372
ソフトウェア	1,085	2,221
リース資産	2,961	2,264
その他	708	458
無形固定資産合計	4,755	367,317
投資その他の資産		
長期前払費用	362	261
その他	6,909	8,392
投資その他の資産合計	7,272	8,653
固定資産合計	458,745	826,464
資産合計	2,385,342	2,169,304

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,475	20,389
1年内返済予定の長期借入金	56,004	56,004
リース債務	2,556	5,048
未払法人税等	6,727	5,797
その他	64,927	133,595
流動負債合計	141,690	220,833
固定負債		
長期借入金	104,493	48,489
リース債務	11,203	22,774
資産除去債務	2,953	3,014
その他	21,223	16,813
固定負債合計	139,873	91,091
負債合計	281,563	311,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,229,186	2,245,242
資本剰余金	449,096	465,152
利益剰余金	△574,464	△845,256
株主資本合計	2,103,817	1,865,138
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△38	△7,759
その他の包括利益累計額合計	△38	△7,759
純資産合計	2,103,778	1,857,379
負債純資産合計	2,385,342	2,169,304

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	1,228,813	902,366
売上原価	388,833	396,632
売上総利益	839,979	505,733
販売費及び一般管理費		
役員報酬	113,083	143,642
給料及び手当	115,724	130,334
退職給付費用	4,579	5,504
減価償却費	5,090	5,610
研究開発費	140,642	176,120
支払手数料	110,641	97,775
その他	208,059	215,363
販売費及び一般管理費合計	697,822	774,352
営業利益又は営業損失(△)	142,157	△268,618
営業外収益		
受取利息	9,479	349
為替差益	—	2,792
補助金収入	3,063	100
その他	1,370	485
営業外収益合計	13,912	3,727
営業外費用		
支払利息	1,773	1,657
株式交付費	—	679
為替差損	21,002	—
営業外費用合計	22,775	2,337
経常利益又は経常損失(△)	133,293	△267,227
特別損失		
固定資産除却損	—	108
退職給付制度終了損	2,941	—
特別損失合計	2,941	108
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	130,352	△267,336
法人税、住民税及び事業税	6,594	2,328
法人税等調整額	△4,567	1,126
法人税等合計	2,026	3,454
当期純利益又は当期純損失(△)	128,325	△270,791
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	128,325	△270,791

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	128,325	△270,791
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	27	△7,720
その他の包括利益合計	27	△7,720
包括利益	128,352	△278,512
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	128,352	△278,512

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,229,186	449,096	△702,790	1,975,492
当期変動額				
新株の発行				—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			128,325	128,325
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	128,325	128,325
当期末残高	2,229,186	449,096	△574,464	2,103,817

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△66	△66	1,975,426
当期変動額			
新株の発行			—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			128,325
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27	27	27
当期変動額合計	27	27	128,352
当期末残高	△38	△38	2,103,778

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,229,186	449,096	△574,464	2,103,817
当期変動額				
新株の発行	16,056	16,056		32,112
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△270,791	△270,791
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	16,056	16,056	△270,791	△238,679
当期末残高	2,245,242	465,152	△845,256	1,865,138

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△38	△38	2,103,778
当期変動額			
新株の発行			32,112
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△270,791
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7,720	△7,720	△7,720
当期変動額合計	△7,720	△7,720	△246,399
当期末残高	△7,759	△7,759	1,857,379

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	130,352	△267,336
減価償却費	25,016	24,432
株式報酬費用	—	24,084
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△48,000	—
受取利息	△9,479	△349
支払利息	1,773	1,657
為替差損益(△は益)	23,347	△4,053
補助金収入	△3,063	△100
退職給付制度終了損	2,941	—
有形固定資産除却損	—	108
売上債権の増減額(△は増加)	△30,044	9,383
たな卸資産の増減額(△は増加)	37,178	△30,915
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,904	8,927
未払金の増減額(△は減少)	△12,918	2,713
前受金の増減額(△は減少)	△44,863	52,444
その他	7,625	△10,070
小計	60,960	△189,072
利息及び配当金の受取額	9,479	349
利息の支払額	△1,646	△1,640
補助金の受取額	1,353	1,810
法人税等の支払額	△25,317	△2,572
法人税等の還付額	—	3,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,828	△187,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△708,360	—
定期預金の払戻による収入	816,770	—
有形固定資産の取得による支出	△9,580	△4,537
無形固定資産の取得による支出	—	△1,836
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△444,363
その他	—	△875
投資活動によるキャッシュ・フロー	98,829	△451,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	208,000	—
長期借入金の返済による支出	△184,286	△56,004
リース債務の返済による支出	△1,987	△3,535
割賦債務の返済による支出	△1,440	△3,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,286	△62,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,699	△563
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	144,245	△702,369
現金及び現金同等物の期首残高	1,491,060	1,635,306
現金及び現金同等物の期末残高	1,635,306	932,937

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	米国	スイス	その他	合計
389,385	536,371	123,677	179,377	1,228,813

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Hoffmann-La Roche Ltd.	214,232	PXBマウス事業
Intercept Pharmaceutical	124,322	PXBマウス事業

当連結会計年度(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	米国	スイス	その他	合計
402,686	329,085	95,612	74,981	902,366

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Gilead Sciences, Inc.	126,010	PXBマウス事業
国立大学法人広島大学	102,513	PXBマウス事業
Hoffmann-La Roche Ltd.	95,612	PXBマウス事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	728.38円	639.26円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	44.43円	△93.36円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	44.17円	－円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	128,325	△270,791
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	128,325	△270,791
期中平均株式数(株)	2,888,300	2,900,646
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数(株)	17,157	－
(うち新株予約権(株))	(17,157)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	新株予約権3種類(新株予約権の数2,225個(普通株式222,500株))

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

サービス別売上高

		前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)		前年同期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
肝炎関連売上	国内	242,733	19.8	228,100	25.3	94.0
	海外	474,263	38.6	274,351	30.4	57.8
DMPK/Tox関連 ・その他売上	国内	146,652	11.9	174,586	19.3	119.0
	海外	365,163	29.7	225,327	25.0	61.7
合計		1,228,813	100.0	902,366	100.0	73.4

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高を記載しております。